

丹沢：檜洞丸-加入道山-畦ヶ丸

- ◆日程 2017年6月10日(土)～6月11日(日)
◆メンバー L：須田k、岡村



「あれ？多いな」。避難小屋泊の計画で荷物は多くないと考えていたが、結構ある。50リットルのザックに詰め直し、寝るのが遅くなってしまった。

6月10日(土) 天候：晴れ

午前6時、須田さんが車で家の前まで来てくださった。一路、西丹沢自然教室へ。到着。うまいこと駐車できた。蛇口から水を汲もうとしたら、職員の方が「沸かしても飲用に適さない」と言って嫌がるので、川で汲んだ。今回、水場がなく、1人4リットルを担ぐ。檜洞丸を目指す。ゴーラ沢出合で沢を渡る。つつじ新道に入り、平坦部分もなく、ひたすら急登。階段が多く、体力を吸い取られた。つつじは上の方で咲いていた。テシロノ頭への分岐を過ぎると、登りが緩くなった。木道を進み、檜洞丸に着く。

犬越路に向かう。見晴らしが効く下り道。飛ぶ鳥もこんな景色を見ているだろうな、と思えた。山また山が見えて、下界の街は見えない。犬越路まで、いくつもアップダウンを越えつつ、400mも下る。犬越路には信玄伝説が名前の由来との案内板があった。犬越路から大室山まで400mを登り返す。きつい上に気温も上がり、汗が滴る。気合いが抜けて、眠気に襲われ、視界がカクカクした。きつかった。須田さんは「ここは第2の核心部」と、遅れた私を励ましてくれた。稜線に出て大室山へ向かった。

今回、どの山も

- ①きつい登りの後に
- ②平坦な道に出て、
- ③それをずっと進むと頂上の標識があって、
- ④標識がなければ頂上とわからない

大室山もそうだし、加入道山、畦ヶ丸もそうだった。破風口から見えるピークのもうひとつ向こうが加入道山だ。加入道山の手前に避難小屋がある。小屋と頂上に標高差は、ほぼない。

避難小屋は平成28年改築で快適。木の匂いがする。須田さんと二人で独占し、夕食後の午後7時頃雑談していたら、7人の男女が入ってきて「3時間仮眠して出発します」と宣言。聞けば、3日間で山中を120km歩くレースの練習だという。邪魔してはいけないので寝ることにした。彼らは宣言どおりに出発して行った。山の楽しみ方も多様化した。

CT：西丹沢自然教室 8:30—檜洞丸 11:20/11:35—犬越路 13:15/13:30～大室山
～加入道山避難小屋 16:20

6月11日(日) 天候：曇り

翌朝、朝食を済ませ、軽く掃除をして出発。朝もやの中を歩く。幻想的だ。鹿を見る。ホトトギスの声を聞く。涼しい。下り基調だし、昨日と比べるとやさしさを感じるアップダウンだと思った。よく寝たせいか。

雑談をしながら歩いて畦ヶ丸避難小屋に着く。中は薪ストーブがある変わった作りだった。寒い季節に泊まれば楽しそう。善六のタワまで下り、その後、登山道があるかと思っただけ、そうでもなかった。少しルートからはずれて本棚を見に行く。すばらしい滝だ。これを見逃す手はない。

古い地図にある権現山へのルートが、須田さんが最近買い直した地図には載っていない。実際歩いてみると、権現山への分岐は見つからなかった。廃道になったか。広い川原を進む。丸太橋を何度か渡り、堰堤を2、3越えると、見覚えのある西丹沢自然教室に着いた。

CT：避難小屋 5:30—モロクボ沢ノ頭 7:20/7:30—畦ヶ丸 7:50/8:00—大棚
9:05/9:20—西丹沢自然教室 10:00

(記：岡村)